

令和7年(2025年)10/25

第109号

火事と救急は
局番なし119番

消防だより

発行

吹田市防火連合会

吹田市江坂町1丁目21-6

吹田市消防本部内

電話(06)6193-0119(代表)

2025年度全国統一防火標語
『急ぐ目も 足止め火を止め 準備よし』



令和7年度 大阪府危険物安全大会表彰式(3ページに関連記事)

火災のない

明るい吹田市

を築きましょう

10年経ったら交換しましょう



新会長就任あいさつ



吹田市防火連合会
会長 橋本 治

このたび、令和7年度吹田市防火連合会総会の役員改選により、川口前会長の後任として会長に就任いたしました橋本建設株式会社 代表取締役の橋本治でございます。

平素は、本会の運営に御支援と御理解を賜り、深く感謝申し上げます。会長という大役に大きな責任を感じておりますが、会員の皆様の御協力を得て、全力を尽くす決意でございます。

昨年では、元旦に能登半島地震、8月には宮崎県日向灘を震源とするマグニチュード7.1の地震が発生。各地では山火事が発生するなど、多くの尊い人命と貴重な財産が失われました。また、マグニチュード8～9クラスの30年以内の南海トラフ地震発生率が「80%程度」に引き上げられるなど、巨大地震や温暖化に伴う超大型台風の襲来、ゲリラ豪雨等の発生率も高まっており、このような大きな災害を乗り越えるためには、事業所や地域住民の皆様方との防火・防災の輪を広め、私たち協会も民間の立場から関係行政機関と協力し、「安心安全の都市(まち)づくり」に積極的に貢献していきたいと考えております。

そのためには、私たち会員が今まで以上に一致団結し協会運営にあたる必要があると考えておりますので、地域住民の皆様におかれましても今まで以上に更なる御指導とお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びとなりましたが、皆様方事業所の益々の御発展及び地域住民の皆様様の御多幸を心から祈念いたしまして、就任の御挨拶とさせていただきます。

吹田市防火連合会名簿

役職	氏名	事業所等	所属・役職
相談役	後藤 圭二	吹田市長	
相談役	山田 武史	吹田市消防長	
会長	橋本 治	橋本建設(株)	建設・会長
副会長	市川 盛壽	豊津振興市場協同組合	公衆・会長
会計監査	紙谷 和典	日本推進建設(株)	建設・副会長
会員	田中 敏之	栄電気(株)	建設・副会長
"	竹中 伸成	竹中管工(株)	建設・副会長
"	三野 博	(株)三野商店	建設・副会長
"	石井 章雄	サニーストンホテル	公衆・副会長
"	古田 哲也	パチンコ888	公衆・副会長
"	山本 修	佐竹食品(株)	公衆・副会長
"	川口 美佳	アサヒビール(株)吹田工場	工危・会長
"	原 貴之	山文油化(株)吹田工場	工危・副会長
"	表 和志	(株)日本触媒吹田地区研究所	工危・副会長
"	佐々木 伸之	(株)プロテリアル金属	工危・副会長
"	新堀 勝也	山崎製パン(株)大阪第一工場	工危・副会長
"	阪本 緑	吹田市家庭防火クラブ連絡協議会 (吹田市上山手町)	家防・会長
"	吉田 照子	吹田市家庭防火クラブ連絡協議会 (吹田市山三地区)	家防・副会長

建設・・・吹田市建設業防火協会
公衆・・・吹田市公衆集会場防火協会
工危・・・吹田市工場危険物防火協会
家防・・・家庭防火クラブ

令和7年度 大阪府危険物安全大会



山文油化株式会社
(吹田工場 工場長 原氏)



城南産業株式会社
(代表取締役 川本氏)

令和7年6月13日(金) ホテルモントレ グラスミア大阪23階 ウィンダムホールに於いて、令和7年度 大阪府危険物安全大会が開催され、「大阪府知事表彰 優良危険物関係事業所」には山文油化株式会社、「公益財団法人 大阪府危険物安全協会地域安全活動表彰 優良危険物事業所」には城南産業株式会社の2事業所(吹田市工場危険物防火協会員)が表彰されました。

消防関係総務大臣表彰式

令和7年7月10日(木) 総務省合同庁舎第二号館に於いて、消防関係総務大臣表彰式が開催され、「令和7年度安全功労者総務大臣表彰」に吹田市公衆集合場防火協会 副会長の石井 章雄氏が表彰されました。石井氏は、平成13年3月に入会してから現在に至るまで、防火思想の普及・啓発に尽力し、吹田市の消防・防災の指導者として活動され、地域の安心・安全の都市(まち)づくりに多大な貢献をされ、その功績が高く評価されたものです。



救急活動協力者表彰



池内 西消防署長 濱 健士郎氏 佐々木 清豪氏 佐々木 愛珠氏 東尾 しのぶ氏 豊田 艶子氏

令和7年7月21日(月)、西消防署において、救急活動に対する感謝状の贈呈式が行われ、池内西消防署長より感謝状が贈呈されました。濱 健士郎氏、佐々木 清豪氏、佐々木 愛珠氏、東尾 しのぶ氏、豊田 艶子氏の5名は、路上に倒れていた傷病者を発見すると意識確認、119番通報、AEDの手配・使用、胸骨圧迫を連携して実施。5名の勇気と迅速な通報、的確な処置により、傷病者は早期に社会復帰されることができました。

救急活動協力者表彰



池内 西消防署長 福田 美穂氏 藤井 薫氏 常久 すす奈氏 久保 和也氏

令和7年8月8日(金)、西消防署において、救急活動に対する感謝状の贈呈式が行われ、池内西消防署長より感謝状が贈呈されました。福田 美穂氏、藤井 薫氏、常久 すす奈氏、久保 和也氏の4名は、吹田市内のスポーツ施設においてプール内に沈んでいく傷病者を発見すると、プールサイドへ引き上げ、意識確認、119番通報、AEDの使用、胸骨圧迫を連携して実施。4名の勇気と迅速な通報、的確な処置により、傷病者は社会復帰が見込めるまで回復されました。

第44回危険業務従事者叙勲



令和7年4月29日付け、内閣府より発令があり、第44回危険業務従事者叙勲受章者として、元吹田市消防本部指令情報室長(消防監)山根 昭司氏が選ばれ、令和7年5月7日(水)大阪府庁 本館5階 正庁の間において叙勲伝達式が開催されました。

危険業務従事者叙勲(瑞宝双光章)は、著しく危険性の高い業務に精励した者に授与される勲章であり、数多くの候補者の中から功績の高い山根 昭司氏が選ばれました。

救急活動に対する分隊表彰



後列(左から)：山田消防長、石田司令(当時)、井口司令補、原田司令補(当時)、出原士長(当時)

前列(左から)：南田士長(当時)、石田司令補、平岡士長、山崎北消防署長

令和7年6月2日(月)、北消防署(DRC)において、救急活動に対する分隊の表彰式が行われ、山田消防長より表彰状が贈呈されました。表彰を受けた北千里ST1分隊(石田司令(当時)、原田司令補(当時)、井口司令補、出原士長(当時))、北千里救急隊(石田司令補、南田士長(当時)、平岡士長)は、商業施設において心肺停止状態となった傷病者に対して的確な観察、救命処置及び胸骨圧迫を連携して実施したことにより、傷病者は心拍及び自発呼吸が再開し、無事に社会復帰されました。



おもちゃ花火教室



6月～8月までの間、子供達にとって夏の身近な風物詩である花火の正しい遊び方を伝えるために各幼稚園や保育園で「おもちゃ花火教室」が開催されました。

また、そのときに併せて「防災ダック」を使用した防災教育も行われ、子供たちは、身体を使って楽しく学ばれていました。「防災ダック」は、身体を動かし、声を出して遊びながら学ぶカードゲームで、職員が示したカードに合わせて一斉にポーズをとっていました。

新任 消防士



令和7年4月1日に吹田市消防職員として新規採用され、令和7年4月7日から令和7年9月26日までの6ヶ月間、大阪府立消防学校（全寮制）において、消火・救助・救急の基礎訓練・座学を学ばれ、無事に修業されました。

修業された17名は、令和7年10月1日より各消防署で勤務され、災害現場で活動されています。

事業所訪問

株式会社川本倉庫 吹田営業所

今年当社は、創業134年を迎えた歴史ある会社です。

当社吹田営業所は、吹田操車場からの国鉄専用側線を用いた、貨物輸送の関西圏ストックポイントとして昭和35年に開所し、創業時より、常に一貫した物流の担い手として、正確・迅速・かつ安全をモットーにお得意様各位のご要望にこたえて今日に至りました。国鉄専用線廃止後も、名神・中国自動車道の吹田ICに近い立地であることから、トラック輸送に切り替わっても、開所当時のまま引き続きご利用頂いております。近年では、地場企業様の外部倉庫としても、一般倉庫・定温倉庫・高圧ガス・危険物施設（屋外タンク貯蔵所・屋内貯蔵所・一般取扱所・指定可燃物倉庫等）として又、毒物劇物の取り扱いでも活用いただいております。危険物については過去にも増して規制が厳しくなっている為、危険物の保管・充填取扱作業については、細心の注意を払い、コンプライアンスの遵守に取り組んでおります。

昭和63年3月 「市長表彰」受賞

平成 8年6月 「危険物災害防止」知事の感謝状受賞

平成26年6月 「危険物災害防止」知事の感謝状受賞



【社名】	株式会社川本倉庫 吹田営業所		
【住所】	〒564-0015 大阪府吹田市幸町23番1号		
【TEL】	06-6319-3751	【FAX】	06-6381-4241
【営業時間】	平日8:30~17:30 (休業日:土日祝)		

第53回消防救助技術近畿地区指導会

令和7年7月19日(土)、兵庫県広域防災センター・兵庫県消防学校において、第53回消防救助技術近畿地区指導会が開催されました。

近畿地区指導会では、大阪府・兵庫県から集まった救助隊員が日頃の訓練成果を発揮し、迅速で正確な救助技術を競い合われました。吹田市消防本部では、2種目(障害突破訓練、ロープブリッジ救出訓練)に各2チーム、総勢18名が出場されました。



障害突破訓練には、Aチーム(1番員:片岡消防士、2番員:土井消防士、3番員:橋本(悠)士長、4番員:村下(駿)消防士、補助者:原田(義)司令補)、Bチーム(1番員:今西(純)消防士、2番員:鹹味士長、3番員:末友(拓)、4番員:山下(樹)、補助者:松原主査(司令補))が出場し、2チームともに入賞されました。



ロープブリッジ救出訓練には、Aチーム(1番員:加藤士長、2番員:隅谷士長、3番員:原(直)士長、要救助者:今西(順)士長)、Bチーム(1番員:渡邊(高)消防士、2番員:森田(航)消防士、3番員:近成士長、要救助者:松本(充)消防士)が出場し、1チームが入賞されました。